

令和5年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	公明党
事 業 名	全国地方議会サミット2023「変わる社会・デジタル・新しい民主主義」
事 業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究研修 <input type="checkbox"/> ②調 査

1 上田市での課題と研修・調査の目的

コロナ禍で進んだ生活様式の変容、人口構成の変化による公共サービスの危機、凄まじいスピードで進化する生成 AI などデジタル技術の革新、こうした時代に地方議会がいかに対応するかを、専門家の講義や先進議会の実践を学ぶことで、上田市議会のより一層の改革を進めるための研修を受けた。

2 実施概要

実施日時	視察先
令和5年7月5日 13:00~18:00 7月6日 10:00~16:00	担当部局

* 視察先の写真等がある場合は添付のこと

報 告 内 容	1 主催	ローカル・マニフェスト推進連盟 マニフェスト大賞実行委員会
	共催	早稲田大学マニフェスト研究所
	後援	全国市議会議長会 全国町村議会議長会
2 対象	議員、議会事務局・自治体職員、市民など	
3 会場	早稲田大学大隈講堂・大講堂	

プログラム

第一日目 7月5日

基調講演「激変する時代に対応する議会を実装せよ」

北川正恭（早稲田大学名誉教授/元三重県知事）

特別講演「デジタルで変わる社会 地方と議会への期待」

河野太郎（デジタル大臣） ※動画出演

セッション「デジタルで変わる自治体・政策」

佐藤泰格 都城市総合政策部デジタル総括課

「マイナンバーカード交付率9割越え 都城市のデジタル戦略」

寒川孝之 横須賀市デジタル・ガバメント推進室

「ChatGPT 自治体活用実証 横須賀市のデジタル戦略」

森いづみ 県立長野図書館長

「全国初 県内全 77 市町村との協働電子図書館『デジとしょ信州』」

林 剛史 株式会社メディアドゥ電子図書館推進センター

「デジタル図書館とアクセシブルライブラリー」

セッション「オンラインとデジタルを活かす」

河村和徳 東北大学大学院准教授 都道府県議会デジタル化専門委員会座長

「議会デジタル化の必要性 ChatGPT などの生成系 AI とどう向き合うか」

金澤克仁 取手市議会議長

「デジタル・オンライン活用最前線 AI 活用による議会の視覚化と市民参加」財

前貴玄 Gcom ホールディングス まちだん担当

「デジタルで変わる市民と議会まちだん宮崎市議会 DX 実証実験より」

セッション「デジタルが拓くあたらしい民主主義」

中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

「Society5.0 時代のあたらしい民主主義」

五十嵐立青 つくば市長

「つくば市が取り組む選挙 DX インターネット投票実証実験より」

山本直也 芽室町選挙管理委員会事務局書記長

「選挙後（無投票選挙）も選挙公報を有権者へ届ける取組」

川久保皆実 つくば市議会議員

「新しいスタイルの選挙運動を全国に！『選挙チェンジチャレンジの会』の取組

第二日目 7月6日

鼎談「地方分権の20年とこれからの10年を展望する」

北川正恭（早稲田大学名誉教授 元三重県知事）片山善博（大正大学教授
元総務大臣）廣瀬克哉（法政大学総長）

セッション「政策議会の一般質問」

土山希美枝（法政大学教授）西原 浩（別海町議会議長）
青野 敏（鷹栖町議会議員）片山兵衛（鷹栖町議会議員）

セッション「自治体監査と議選監査委員を活かす」

江藤俊昭 大正大学教授

「政策サイクルと政策財務」

川上文浩 可児市議会議員 議選監査委員

「議選監査委員の活かし方 行政のかかりつけ医」

谷川 宏 鎌倉市監査委員事務局長 前議会事務局議事調査課長

「監査委員事務局との連携 自治体監査・議選監査の活かし方」

子籠敏人 あきる野市議会議員 議選監査委員

「議選監査委員を活かす」

セッション「政策つよい議会をつくる」

菅原由和 奥州市議会議長

「政策決議提案とガイドライン」

清水克士 前大津市議会局長 早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員

「大学連携とミッションロードマップによる政策立案」

津軽石昭彦 関東学院大学教授

「議会における政策づくりと政策法務」

感想

「地方分権」「マニフェスト」20年を経て、あたらしい民主主義の再定義をテーマに掲げて、2日間にわたり開催されたサミットは、非常に中身の濃いセッションだった。

コロナ禍を経て、大きな変革が余儀なくされているが、社会のあり方とともに、議会改革がよりスピード感を持って、デジタルやDXという切り口から進められている中、先進的に取り組んでいる議会との格差を感じた。

また、今回、「議選監査委員を活かす」とのセッションが行われることに大変興味があった。改めて議選監査委員の意義と使命を認識した。鎌倉市では、議会請求監査を過去4回請求するなど監査機能も活用しているとのこと。行政計画の整合性や業務委託の妥当性などだが、監査と議会との協働で、自治体改革、地域経営の改革の活性化が図れるとの議論は新鮮だった。

今回のような、全国規模のサミットに参加することで、そのネットワークを活かした多くの実践例や知恵を自らの議会での政策提言に繋げていく事の必要性を感じた。

上田市議会の多くの議員が参加できれば改革もさらに進むのではないかと思う。